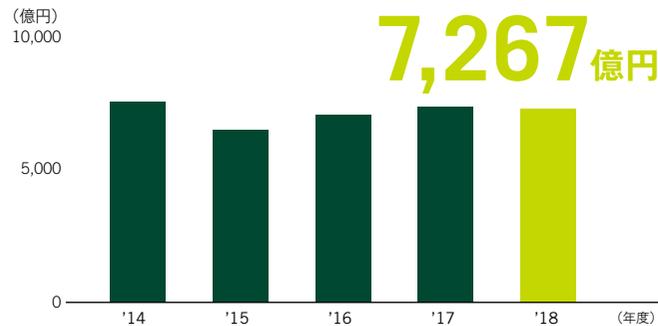


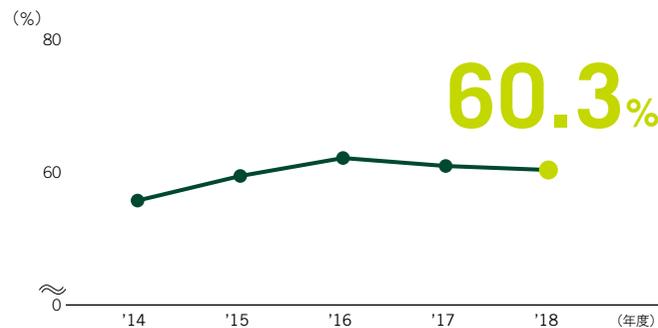
財務ハイライト

親会社株主に帰属する当期純利益



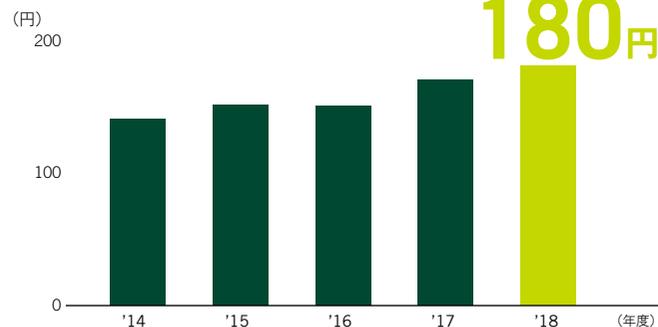
年度後半のマーケット環境の悪化により、リテール事業部門の資産運用ビジネスが苦戦した一方、グループ全体の成長を牽引する国際事業部門が引き続き堅調に推移し、2018年度目標の7,000億円を上回りました。

経費率



相対的に経費率の高い関西アーバン銀行・みなと銀行の非連結化による影響に加え、グループベースでコストコントロールに継続して取り組んでおり、前年度に続き、中期経営計画で掲げた2016年度(62.1%)比1%程度改善という目標を下回る水準となりました。

普通株式1株当たり配当金



中期経営計画の施策が順調に進捗し、親会社株主純利益が業績目標を上回ったことを踏まえ、前年度実績および公表予想から10円の増配となる、1株当たり180円としました。

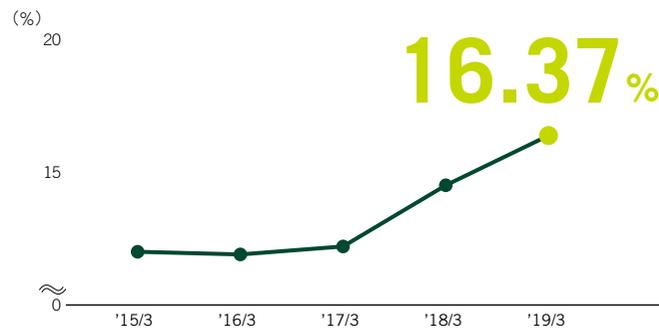
ROE*



* 株主資本を分母にして算出

中期経営計画を着実に推進し、親会社株主純利益が目標を上回り順調であったことから、中期経営計画の財務目標で掲げる「7~8%程度」を上回りました。

普通株式等Tier1比率*



* バゼルⅢ完全実施基準

利益剰余金の積み上がりにより普通株式等Tier1資本が増加したほか、三井住友ファイナンス&リースの非連結化を主因にリスクアセットが減少したことから、前年比1.87%上昇しました。

外部格付(2019年6月末現在)

	持株会社		三井住友銀行	
	長期	短期	長期	短期
Moody's	A1	P-1	A1	P-1
S&P	A-	—	A	A-1
Fitch	A	F1	A	F1
格付投資情報センター(R&I)	A+	—	AA-	a-1+
日本格付研究所(JCR)	AA-	—	AA	J-1+